ISSN 0389-0546

早稲田法學

第93巻　第２号

2018

論　説

マキァヴェッリ諸作品の連関（２）
——リーダー像を中心に——　笹　倉　秀　夫（１）

法益主体の「真の意思」と犯罪の成否
——住居侵入罪を例として——　菊　地　一　樹（55）

判例評釈

〔フランス企業法判例研究〕「議事日程」に記載がない議題にかかわる株主総会の決議の効力　鳥　山　恭　一（97）

〔刑事判例研究〕「騙されたふり作戦」が実行された後に関与した受け子の罪責について
早稲田大学刑事法学研究会　谷　岡　拓　樹（111）

研究ノート

ドイツ連邦憲法裁判所における「主張可能性の統制（Vertretbarkeitskontrolle）」の展開
——第２次堕胎判決まで——
山　本　真　敬（125）

早稲田大学法学会